

<招待講演 1>

## 「目標設定における動機づけの役割：ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に内在する多種多様なリソースの活用法」

ローナ・カーソン (ダブリン大学トリニティカレッジ)

### 【要旨】

ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)は複合的で詳細な記述の枠組みである。周到的な準備期間を経て開発されたこの参照枠は、(1)言語シラバス・カリキュラム指針の精緻化、(2)教材開発、(3)外国語の熟達度評定、という3つの領域に対して、明瞭で、一貫性のある包括的な基盤を提供する。本講演では、動機づけの観点から、学習者の言語活動や気づきを促進するための目標設定ツールとして、CEFRを実際の言語教育現場でどのように活用できるかについて考える。

### ローナ・カーソン

ダブリン大学トリニティカレッジ言語学・スピーチ・コミュニケーションサイエンス学部准教授、専門は応用言語学。同学部大学院プログラム主任。日本学、韓国学、中国学を専門とする総合学習研究センター「トリニティ・アジア研究所」を同大学で創設、所長に就任。主な研究分野は、第二言語学習の観点から見た個人レベルと社会レベルのマルチリンガリズムの接点、言語政策、教授法と評価など。学士、修士、博士をダブリン大学トリニティカレッジで取得。ベルギーブルーージュにある欧州大学院大学でも修士を取得。2015年に在職校のダブリン大学トリニティカレッジでフェローに選ばれる。著書には *The Multilingual City: Vitality, Conflict and Change* (Lid Kingとの共同編著, 2016, Multilingual Matters), *Language Learner Autonomy: Policy, Curriculum, Classroom* (Breffni O'Rourkeとの共同編著, 2010, Peter Lang), *Multilingualism in Europe: A Case Study* (2003, 2005, Peter Lang) などがある。アイルランド応用言語学会 (IRAAL) の現会長。

